

研究課題名	広島臨床腫瘍外科研究グループ（Hiroshima Surgical study group of Clinical Oncology: HiSCO）による胆のう摘出術共通データベース事業
研究期間	実施許可日 ～ 2052 年 12 月 （半永久的に継続予定）
研究の対象	2000 年 1 月から 2051 年 12 月の間に広島大学病院消化器外科および共同研究機関にて急性胆嚢炎の治療を受けられた患者さんを対象とします。
研究の目的・方法	研究目的： 急性胆嚢炎を含む胆道疾患に対する治療は、重症度に応じて治療法が異なります。しかし、よりよい予後を得るために指摘治療方針は未だ不明な点が多く、さらに検討が必要です。今回、広島臨床腫瘍外科研究グループ（Hiroshima Surgical study group of Clinical Oncology: HiSCO）で大規模データを収集・解析することでより良い治療法を検討するため、この研究を計画しました。 研究の方法：本研究は、各機関において、誰のものか分からないように加工したカルテ情報を、HiSCO が運営するデータベースに登録し、将来新たに計画・実施される研究のためのデータベースとして HiSCO 事務局が管理します。データベースのアクセスは本研究の担当者のみアクセス可能です。
研究に用いる試料・情報の種類	カルテから転記する内容は身長、体重、性別、血液検査、術前 CT 所見、予後等 試料・情報の管理責任者 広島大学病院 消化器外科・移植外科 教授 大段秀樹です。
外部への試料・情報の提供	広島臨床腫瘍外科学グループ（HiSCO）へのデータ提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で WEB システムを用いて行います。
利用または提供を開始する予定日	本院における実施許可日（2023 年 9 月 6 日）
個人情報の保護	試料・情報を提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で提供します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理し、外部へ提供することはありません。
研究組織	本院の研究責任者 東広島医療センター 消化器外科・医長 濱岡 道則 研究機関の長 柴田 諭 研究代表機関 広島大学病院 消化器外科・移植外科 教授 大段秀樹

	共同研究機関、研究責任者、機関の長 県立広島病院 中原英樹 板本敏行 JA尾道総合病院 大下彰彦 宮田義浩 広島市立北部医療センター安佐市民病院 小橋俊彦 永田信二 東広島医療センター 濱岡道則 柴田諭 中国労災病院 福田敏勝 栗栖薫 国立病院機構呉医療センター 尾上隆司 繁田正信 JA 吉田総合病院 今岡泰博 田代裕尊 広島西医療センター 大石幸一 鳥居剛 特定非営利活動法人 広島臨床腫瘍外科学グループ (HiSCO) (事務局・データセンター：広島大学)
その他	本研究で収集したデータは半永久的に HiSCO のデータベースに保存され、将来新たに計画・実施される研究に使用されます。これを二次利用と言います。その際も個人が特定できる形で公表される事はありません。また改めて倫理審査委員会で承認後、研究機関の長の許可を受けて使用させていただきます。 本院において将来の研究に使用した場合は、本院のホームページ (臨床研究に関する情報公開について) https://higashihiroshima.hosp.go.jp/about/rinsyoukenkyuu.html へその情報を掲載し、拒否の機会を保障します。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 〒739-0041 東広島市西条町寺家 513 T e l : 082-423-2176 東広島医センター 消化器外科 医長 濱岡 道則